

人口減少時代に対応するためのまちづくり
～金沢市集約都市形成計画を踏まえて～

平成29年11月28日

(株)日本海コンサルタント
埴 正浩

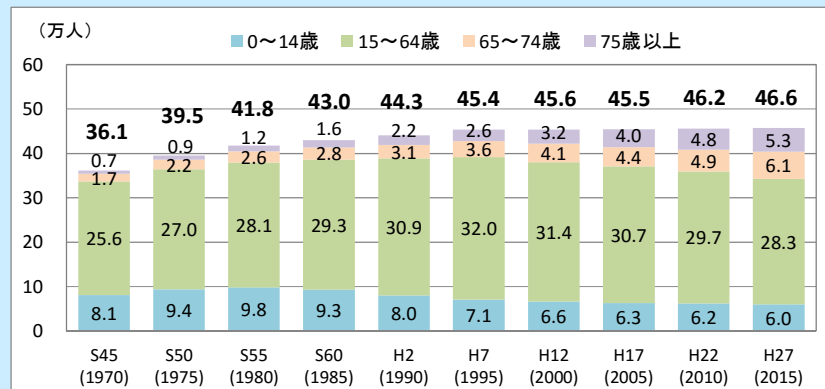
1. 金沢市の現況・課題

2

1) 人口・市街地の変化

- 金沢市ではこれまで着実に人口が増加し、それに併せて市街地規模を拡大（1970年→2015年：36.1万人→46.6万人、+29%）

<人口の推移(市全体)>



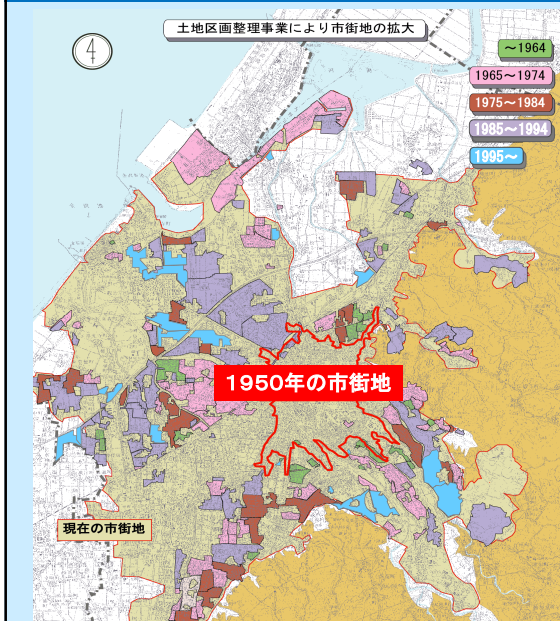
※総人口には年齢不詳の人口を含む

(出典 国勢調査)

1. 金沢市の現況・課題

3

1) 人口・市街地の変化



- 旧市街地では面的な整備はほとんど行われていない
 - 新市街地の大半は区画整理事業により整備
- (現在の市街化区域の約45%が区画整理事業施行地)

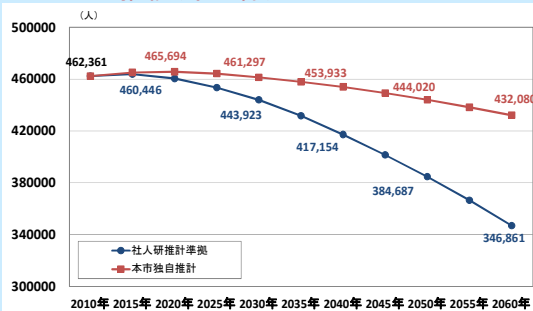
1. 金沢市の現況・課題

4

1) 人口・市街地の変化

● 今後は人口減少および少子高齢化の進行が予測

<人口の推移(市全体)>



H27(2015) H52(2040)
 人口: 46.6万人 → 41.7万人
 (-10%)
 高齢化率: 25% → 35%
 (+10ポイント)

(出典 金沢市人口ビジョン)

- ◇ 増加する医療・介護サービス需要への対応
 - ◇ 人口密度の減少により日常生活に必要な都市機能の消失が懸念
 - ◇ 空き地・空き家化の進行が懸念
- 定住・移住の促進に資する住みやすい都市構造の構築が必要

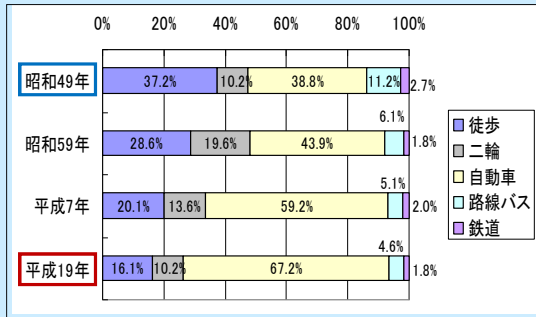
1. 金沢市の現況・課題

5

2) 交通の動向

- 自動車の利用が大幅に増加し、徒歩・自転車、公共交通の利用が減少

<代表交通手段別分担率の推移（金沢都市圏全体）>



- ◇ 自動車に依存した生活スタイルが定着
- ◇ 高齢ドライバーの増加に伴い交通事故の危険性が増大

→ 自動車に頼らなくても生活できる都市構造への転換が必要

	S49 (1974)	H19 (2008)
徒歩・二輪	47.4%	→ 26.3%
路線バス・鉄道	13.9%	→ 6.4%
自動車	38.8%	→ 67.2%

1. 金沢市の現況・課題

6

3) 課題の整理

- 人口が減ると、どうなるの？

人口減少によりまちの活力が低下し、生活が不便に

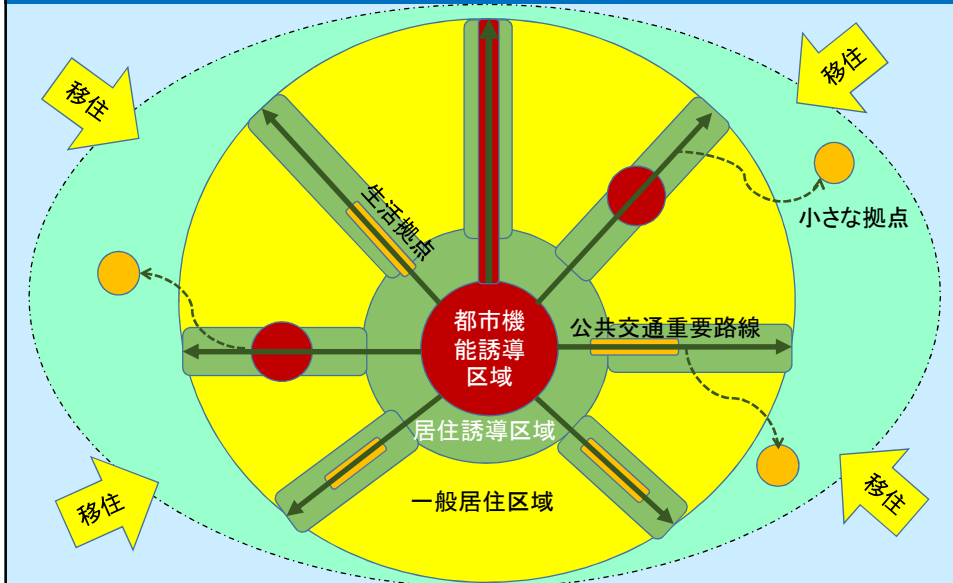
～ 今、真剣に考え、将来起こり得る問題を未然に防ぐ～

- 全国の都市と同様に、本市でも**少子・高齢化**とそれに伴う**人口減少**が進行、**まちの活力や賑わいの低下**が懸念
- このまま進むと、**空き家・空き地の増加**による**まちの空洞化、公共交通の廃止**（クルマが無いと生活できないまち）、**商店や病院などの生活関連施設の撤退、地域コミュニティの希薄化**など、**市民生活に大きな影響**が・・・

5. 今後、どのような都市を目指すべきか

9

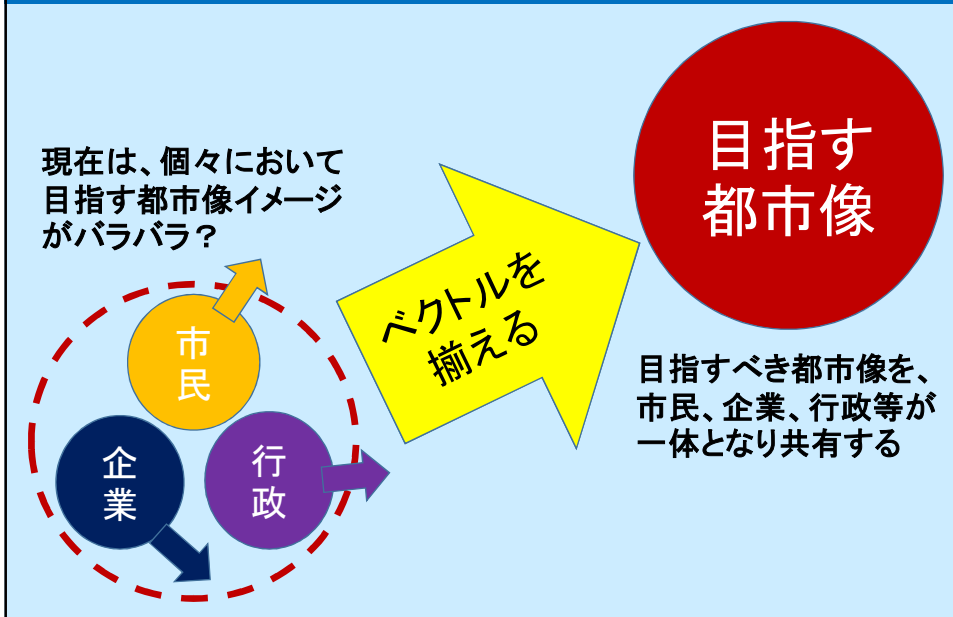
- 集約都市を推進し、さらにまちづくりに磨きをかけ、移住・定住を促す。一方、市街化調整区域や中山間地等には、小さな拠点を創出すべき。



6. 目指す都市像を実現するために

10

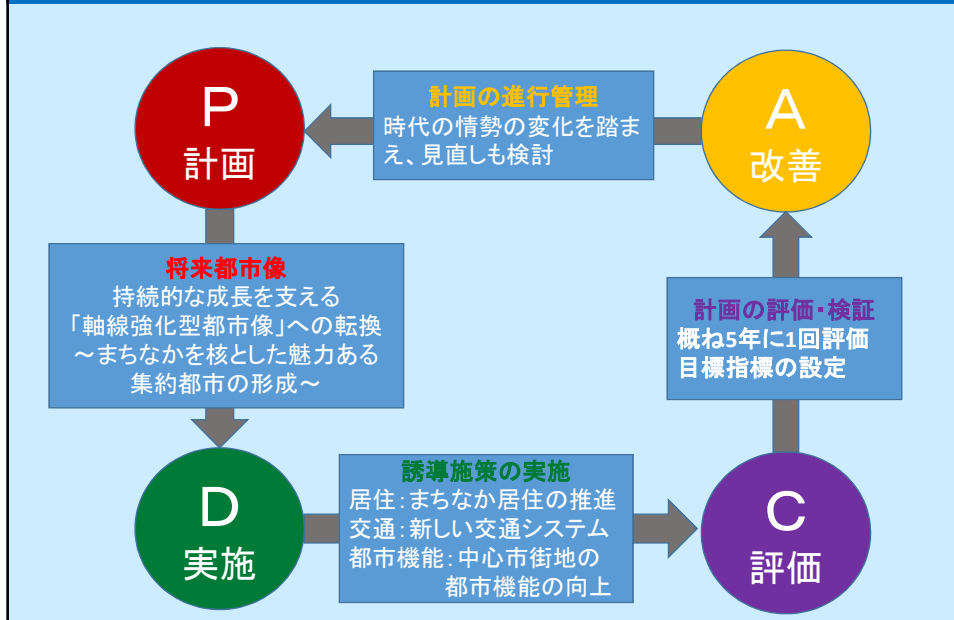
- 市民、企業、行政等がベクトルを揃える



6. 目指す都市像を実現するために

11

● P (計画) → D (実施) → C (評価) → A (改善) が大切



ご清聴ありがとうございました。